

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
110011012	未来へつなぐアウトリーチ I Outreach activity for the future I	家政学部全教員		共通	1	必修	1前期

科目の概要

家政学部の教育目標と学科のディプロマポリシーである建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域社会の人々と協働して課題を解決していく人材を育成することを目的に学ぶ初年次科目です。「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」で作成した実施計画案に基づいたアウトリーチ・ボランティア活動に取り組みます。PDCA（P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正）サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動など家政学の視点から旭地区の課題を発見し、その課題解決を目指します。最後に1年生と教員全員が参加する成果発表会を実施します。社会人基礎力の育成は学修行動特性評価シート（PCRシート）を活用し、学部統一のルーブリックで評価します。

学修内容	到達目標
① アウトリーチ・ボランティアを実践します。 ② 家政学の視点からpisa型学力を活用して、ボランティア先が抱える課題を抽出します。 ③ 地域活動の中で、四大精神の実践と社会人基礎力を発揮します。 ④ PDCAサイクルを理解し、活用します。 ⑤ ボランティア活動の成果を整理し発表します。	① ボランティア先の方とコミュニケーションをとり活動を行うことができる。 ② 家政学の視点からpisa型学力を活用して、ボランティア先が抱える課題を課題解決することができる。 ③ 四大精神の実践と社会人基礎力を発揮した活動ができる。 ④ PDCAサイクルを活動に活かすことができる。 ⑤ 自己のボランティア活動の成果を到達目標の①～④を観点とした成果発表ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	活動の目的・目標を自己のものとして、教員やメンバーから言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考え、実行しようとする意識をもつことができる。
	働きかけ力	活動の目的・目標に向かって「やろうよ」と呼びかけ、グループメンバーに影響力を与える行動へと進めることができる。
	実行力	活動の目的・目標の達成に向かって、家政学の視点に立って、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案することができる。
考え抜く力	課題発見力	活動の目的・目標の達成に向かって、家政学の視点に立って、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案することができる。
	計画力	活動の中で発見する課題を解決する複数の手順（プロセス）を思考し、その中で最善のものは何かを提案することができる。さらに何をいつまでに実行するか計画することができる。
	創造力	活動中に発生する課題解決に対して固定観念や既存の発想にとらわれることなく、家政学の視点に立ち、解決案を発想することができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、グループメンバー、ボランティア先の方とコミュニケーションをとることができる。
	傾聴力	グループメンバー、ボランティア先の方の話を適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、話しやすい環境をつくることができ、話の内容を理解し、さらに内容を深掘りする質問をすることができる。
	柔軟性	グループメンバー、ボランティア先の方からの意見・考え・提案に相違点があっても反対するのではなく受容し、自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させることができる。
	状況把握力	自分の立場・役割・使命を理解し、グループメンバー、ボランティア先の方がどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握することができる。
	規律性	活動の中で、人と人との約束ごとである社会のルールや慣習、チーム内のルールを守り行動することができる。
	ストレスコントロール力	活動の中で、ストレスを感じる出来事の原因を明確にして、ストレスを解消する方法を考えことは自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：毎週、配布するワークシート（PCR）が、皆さんと一緒に作り上げるテキストです。最終的には自分の教科書となります。
 参考文献：無限の可能性への道 - 社会人基礎力を育む学泉ノート -

他科目との関連、資格との関連

家政学で学ぶ科目、生活で活用している知識・技能を活用します。未来へつなぐアウトリーチスタートアップの授業が基盤となります。さらに潜在能力の開発で学ぶ四大精神、社会人基礎力、pisa型学力を発揮する科目となります。

学修上の助言	受講生とのルール
この授業は、家政学の教育目標を達成する4年間の基盤をつくります。日常より家政学の核となる衣・食・住・消費活動の面から課題を発見し、解決に必要な知識を獲得・活用・解決する（pisa型学力）習慣を付けましょう。また、日頃から四大精神の実践と物事に挑戦する意識を持ち、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力を活用する習慣を付けましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習を通して授業内容を理解し次週の授業に臨みます。 課題は提出期限を守ります。 チームメンバーと円滑にコミュニケーションをとります。 体調を整えて、全週出席します。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	レポート	60	①	✓		(評価方法) ① 毎週のアウトリーチ・ボランティア活動では、ボランティア先の方とコミュニケーションをとり課題解決の行動ができていたことを、ワークシートに記載している。 ② 四大精神、社会人基礎力の能力要素が学泉ノートの評価レベル3に到達できていることを、ワークシートに記載している。 ③ 地区の課題を家政学の視点から抽出し、課題解決の知識の獲得 (pisa型学力) が毎週の授業で実行できていることを、ワークシートに記載している。 ④ 授業は常にPDCAサイクルを意識し、実践できているk+を、ワークシートに記載している。 (評価) S: ①~④全て対応している A: ①~④のいずれか3つは対応している B: ①~④のいずれか2つは対応している C: ①~④のいずれか1つは対応している F: ①~④のいずれも該当していない
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤			
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	30	①		(評価方法) ① 毎週のアウトリーチ・ボランティア活動では、ボランティア先の方とコミュニケーションをとり、課題解決の行動が具体的な発表ができていた。 ② 四大精神 (真心・努力・奉仕・感謝)、社会人基礎力 (主体性・実行力・課題発見力・創造力・発信力・傾聴力・規律性) の能力要素の学泉ノートの評価レベル3に到達している行動について、具体的な発表ができていた。 ③ 地区の課題を家政学の視点から発見し、課題解決の知識の活用とさらなる獲得 (pisa型学力) をして課題を解決したことを具体的な発表ができていた。 ④ PDCAサイクルを発揮して活動を具体的な発表ができていた。 (評価) 14週<グループ内での発表>は20%、15週<全体での発表>は10%以下の評価観点より評価します S~Fの評価は、ルーブリックで評価します。		
		②				
		③				
		④				
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	以下の能力評価方法は、実習学部統一のルーブリックで評価します。 【主体性】チーム活動の目的・目標を自己のものとし、見込みメンバーから指示されたことだけでなく、自ら何かを考え、実行しようとする意識を持っている。 【働きかけ力】チーム活動の目的・目標に向かって「やろうよ」と呼びかけ、グループメンバーに影響を与える行動へと進めることができる。 【実行力】目的・目標を達成しようという意思を持ち、PDCAサイクルの全ての段階で、決めたこと、決められたことを確実に成し遂げる行動ができていた。 【課題発見力】アウトリーチメンバー、ボランティア先の方とのディスカッション時に目的・目標の達成に向かって、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と毎回の授業で提案することができる。 【計画力】ボランティア活動の目的・目標の達成に向けて、発見される課題を解決するために計画したことPDCAサイクルを活用して実施できている。 【活動力】ボランティア活動の目的・目標の達成に向けて、自分の意見・考え・提案をする行動ができていた。 【発信力】ボランティア活動の目的・目標の達成に向けて、課題発見、解決に必要な自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、メンバー、ボランティア先の方に伝える行動ができていた。 【傾聴力】アウトリーチメンバー、ボランティア先の方が話されている時は、適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聞き、話しやすい環境をつくることができ、話の内容を理解することができる。 【本気性】アウトリーチメンバー、ボランティア先の方からの意見・考え・提案に自分と相違点があっても反対するのではなく受容し、自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させる意見をいうことができる。 【規律性】実習を通して、一般社会でのルールや慣習を守る行動ができていた。 【自己管理力】自分の志願、役割・使命を理解し、メンバー、ボランティア先の方がどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握しながら実行できている。 【ストレス管理力】活動の中で、ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えた行動ができていた。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>以下の項目実践できている。</p> <p>① ボランティア先の方とコミュニケーションをとり実践できる。</p> <p>② 地区の課題を家政学の視点から発見し、課題解決するpisa型学力を活用できる。</p> <p>③ 四大精神、社会人基礎力を発揮できる。</p> <p>④ PDCAサイクルを活動に活かすことができる。</p> <p>⑤ 自己のボランティア活動の成果を到達目標の①~④の内容を観点に発表ができる。</p> <p>・①から⑤全てが、毎週の授業で実行されている---S ・①から⑤全てが、毎週ではないが実行されている---A</p>	<p>以下の項目をワークシートに記述できている。</p> <p>① アウトリーチ・ボランティアを実践するにあたり、ボランティア先の方から課題発見と課題解決についてコミュニケーションをとることができている。</p> <p>② 真心を持って実習に取り組み、メンバー、ボランティア先の方を尊敬し、ボランティア先の課題解決に全力で取り組み(努力)、自分の能力・労力を捧げ(奉仕)、実践させてもらっているボランティア先の方、メンバーに感謝の気持ちを時々行動に現すことができる。</p> <p>③ 社会人基礎力の12の能力要素の【主体性・実行力・課題発見力・創造力・発信力・傾聴力・規律性】は、学泉ノートの評価レベル3以上発揮できている。</p> <p>④ ボランティア先が抱える課題を家政学の視点から発見し、課題解決の知識を獲得 (pisa型学力) する成果が2つ以上できている。</p> <p>⑤ 自己のボランティア活動の成果を到達目標①~④を観点として、自分の活動について発表できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<p><学修目的の明確化と活動準備①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、社会人基礎力、四大精神を確認する ・自己の課題と達成目標、行動目標を明確化する ・実施計画書より活動場所の課題、注意点、実施事項の確認する ・活動に必要な物品の準備する ・ワークシート (PCR) の活用法を理解する 	<p><演習></p> <p>スタートアップで作成した実施計画書を元に、グループ活動の内容を再度確認、問題等を修正、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が明確に抽出できる ・活動で準備する物、注意する事をワークシートに記述できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか明確にする。 ・実施計画書の再確認する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書を確認する。 ・自己の課題・達成目標を、ワークシート (PCR) に記述する。 ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法を確認する。 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力
2	<p><学修目的の明確化と活動準備②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、社会人基礎力、四大精神を確認する ・自己の課題と達成目標、行動目標を明確化する ・実施計画書より活動場所の課題、注意点、実施事項の確認する ・活動に必要な物品の準備する ・ワークシート (PCR) の活用法を理解する 	<p><演習></p> <p>スタートアップで作成した実施計画書を元に、グループ活動の内容を再度確認、問題があれば修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が明確に抽出できる ・活動で準備する物、注意する事をワークシートに記述できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか明確にする。 ・実施計画書の再確認する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書を確認する。 ・自己の課題・達成目標を、ワークシート (PCR) に記述する。 ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法を確認する。 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力
3	<p>第3週～第5週連続活動</p> <p><ボランティア活動1回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する 	<p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る。 ・実施計画に基づき実習をする ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で地区の課題を1つ以上発見できる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように行動に移すか明確にする。 ・活動先での自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート (PCR) に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシート (PCR) に記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	<p><ボランティア活動1回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する 	<p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る。 ・実施計画に基づき実習をする ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で地区の課題を1つ以上発見できる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように行動に移すか明確にする。 ・活動先での自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート (PCR) に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシート (PCR) に記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	<p><ボランティア活動1回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する 	<p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る。 ・実施計画に基づき実習をする ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で地区の課題を1つ以上発見できる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように行動に移すか明確にする。 ・活動先での自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート (PCR) に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシート (PCR) に記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	<p><ボランティア活動1回目の活動評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画案と活動内容についてチェックし、課題発見、解決案の見直しをする ・自己の役割について、問題点を改善する ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の振り返りをする ・2回目の活動を具体化する 	<p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返りは実施計画書を基にPDCAの「Check-Action」を実施する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画と活動内容がチェックできる。 ・活動2回目ではpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神を発揮させる具体的な行動目標が発表できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動2回目の実施計画書を確認する ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法を確認する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動2回目の実施内容用を整理し、ワークシート (PCR) に記述する。 	180	主体性 実行力 課題発見力
7	<p>第7週～第9週連続活動</p> <p><ボランティア活動2回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する 	<p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言して活動に入る。 ・実施計画に基づき実習する。 ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話をすることができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づけ ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート (PCR) に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力
8	<p><ボランティア活動2回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言して活動に入る。 ・実施計画に基づき実習する。 ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話をすることができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づけ ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート (PCR) に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<p><ボランティア活動2回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する 	<p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る。 ・実施計画に基づき実習する。 ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づける。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート(PCR)に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力
10	<p>第10週～第12週連続活動<ボランティア活動3回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る。 ・実施計画に基づき実習する。 ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか確認する。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート(PCR)に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシート(PCR)に記述する。 	60	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	<p><ボランティア活動3回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する 	<p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る。 ・実施計画に基づき実習する。 ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか確認する。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート(PCR)に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシート(PCR)に記述する。 	60	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	<p><ボランティア活動3回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する 	<p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る。 ・実施計画に基づき実習する。 ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか確認する。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート(PCR)に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシート(PCR)に記述する。 	60	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	<p><ボランティア活動の達成度进行评估></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の計画・実施・課題設定・目標設定・成果とpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神について振り返る ・次回の活動報告(スピーチ)の原稿を作成する 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りワークシートで、活動内容を整理する。 ・活動計画書と実践活動をPDCAから確認する。 ・授業内で不明な点、疑問点、質問等はgoogleのドキュメント、スプレッドシートを活用して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルの実施・目標設定・結果・pisa型学力・社会人基礎力・建学の精神について評価できる。 ・スピーチ原稿が作成できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動をPDCAに当てはめ確認し、課題発見と解決方法を整理し、メンバーに発表できるようにワークシート(PCR)に記述する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の成果を発表内容にまとめ、次回の発表に臨む。 	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力
14	<p><成果発表グループ内></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員(前期・後期)のグループメンバーは全員参加する ・15週の発表代表を選出する ・発表代表の原稿・スライド等ブラッシュアップする 	<p><発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者は計画書・活動内容・成果・課題とpisa型学力、四大精神社会人基礎力についてわかりやすく伝える。 ・発表時間は1人7分、質疑応答3分とする。 ・発表を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価はルーブリックでおこない、5段階中、平均3以上とすることができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の成果内容を作成して、次回の発表に臨む <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の発表について振り返り、課題を整理しワークシートに記述する ・メンバーの成果発表から学んだことをワークシート(PCR)に記述する 	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力
15	<p><成果発表 全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のボランティア活動の成果を到達目標①～④の内容を観点に発表する ・聴講する学生は質問と発表内容について気づいたことを記述する 	<p><発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ代表が発表する。 ・成果発表と聴講をする。 ・発表者に質問をする。 ・発表内容を評価する。 	<p>(発表者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表はpisa型学力・社会人基礎力・建学の精神を分かりやすくつたえることができる。 <p>(聴講者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表より課題を見つめることができる。 ・課題解決法を提案できる。 <p>(全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを整理することができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表代表者のスピーチ内容をメンバー全員で、ブラッシュアップして臨む。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～15週のワークシート(PCR)を整理し、自己の成果と課題を明確にして提出する。 	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力